

王寺町総合計画後期基本計画(第3期デジタル田園都市構想総合戦略)素案に係る  
パブリックコメント(意見公募)結果

◎募集期間

令和5年11月22日(水)～令和5年12月21日(木)

◎提出件数

1件(提出方法：電子メール1件)

◎提出された意見の概要と町の考え方

◇基本目標1 住民に開かれ自立するまちづくり

	意見概要	町の考え方
1	<p>○自治会について</p> <p>住民主体の活動やその支援の充実は、とても重要だ。しかし、マンション等の住民には、自治会活動が煩わしいという方もいる。マンション単独の自治会では、クリーンキャンペーンの参加者が固定化しており、自主防災組織も機能していないように感じる。</p> <p>町内の全自治会が同レベルで活動するには、かなりの格差があるが、どう進めていくのか。</p>	<p>自治会については、ご意見の様な団体間の格差だけでなく、加入率の減少、役員の高齢化や担い手不足が課題となっている。</p> <p>現在、王寺町では地域自治の新たな仕組みづくりとして、一定のまとまりのある区域ごとに自治会や各種団体で構成する「まちづくり協議会」という組織の設立に向けた取組を進めている。複数の自治会や各種団体で協力し合うことにより、担い手不足の解消や、単独の自治会では困難な防災や清掃等の活動の継続を目指している。</p>
2	<p>○広報について</p> <p>町広報紙・町ホームページ・SNSなどで発信されているが、住民がより直接的に情報取得できるシステムが必要だと思う。</p> <p>ケーブルテレビ全世帯につなげ、テレビから電子申請ができるようにしたり、生活情報の発信をしたりしてみてもどうか。</p>	<p>具体的な提案については、今後、取組を検討する際の参考とさせていただく。</p>

◇基本目標2 快適で暮らしやすいまちづくり

	意見概要	町の考え方
1	<p>○道路の渋滞対策について</p> <p>王寺駅周辺道路が慢性的渋滞(時間帯による)になるのは、信号が多過ぎる。右折車線がない信号交差点が多く、右折車を優先しない直進車が多いためである。</p> <p>① 国道25号 龍田～本町交差点南間          県道194 椿井王寺線/三郷町勢野北～勢野もしくは県道236 信貴山線勢野交差点を高架道路化またはロータリー交差点化する。</p> <p>② 県道194号椿井王寺線と県道156号王寺停車場線交差点～国道25号線新出合橋南詰を高架化し、ICのように整備する。</p> <p>③ ②から国道25号線跨線橋の間に、東西を結ぶ高架バイパスをつなぎ、バイパスから駅南口の道路と結ぶ。これには、歩道も備える。そして、この南北道路から病院に直結の進入路を整備する。</p> <p>④ 駅前の東西・南北バイパスにより、従来1階ロータリーはバス・タクシーのみ、2階に一般車として整備する。</p> <p>⑤ 県道236号信貴山線の勢野交差点～国道25号線龍田が何のストレスなく流れるようにお願いしたい。</p> <p>⑥ 王寺町本町交差点及び王寺町役場前交差点の信号が変わるタイミングを変更しなければならない。現状では、役場前の信号は左折可が長い時間が続きその後直進の青信号に替わるが、青信号に替わるまで河合町方向から本町交差点右折車が無理に交差点に入るため、25号線大阪行きの右折車が進めず、本町交差点を起点に南北東に渋滞が伸びている。</p>	<p>道路の渋滞対策については、道路ごとに管理区分があり、王寺町だけで実現できるものではなく、国や県など道路管理者との協議が必要となる。</p> <p>国道25号の渋滞対策については、王寺町・三郷町・斑鳩町で構成する国道25号改良促進三町協議会において、国及び奈良県への「4車線整備の新規事業化」等の渋滞対策の検討の要望を平成28年度から毎年行っている。また、王寺駅南駅前広場に関しては再整備に向けて現在検討をしている。</p> <p>いただいたご意見については、今後の施策の参考とさせていただきます。</p>

	意見概要	町の考え方
2	<p>○公共交通について</p> <p>スマホを使えない人もいるため、オンデマンド化でなく、コミュニティバスの整備をお願いしたい。</p>	<p>王寺町では、民間バス路線が充実していることから、コミュニティバスの整備は考えておらず、バス路線の存続が重要だと認識している。</p> <p>また、高齢者等デジタルに不慣れな方へのサポートを実施するなど、継続してデジタルデバイド対策を実施することとしている。</p> <p>いただいたご意見については、今後の施策の参考とさせていただきます。</p>

#### ◇基本目標4 健やかに暮らせるまちづくり

	意見概要	町の考え方
1	<p>○高齢者・障がい者の活躍の場について</p> <p>王寺駅前再開発の中で、高齢・障がい者が運営する高床式砂栽培農法を用いた農場を展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・王寺駅周辺で食事を提供するところに野菜を卸す。</li> <li>・対面販売を行うことで、地域の方々とのつながり(コミュニティ)が生まれる。</li> <li>・農場の一部をオーナー制にし、野菜の世話を高齢・障がい者らが行う。</li> <li>・農場運営のための原資については、全国の企業にスポンサーとなっていただく。スポンサー企業であることで社会貢献につながる。</li> </ul>	<p>現在、王寺町では、遊休農地等を活用した「オリーブ プロジェクト」を産学官金農福連携により進めている。高齢者や障がい者施設の協力のもと、オリーブの実の収穫や苗の育成に取り組んでいるところである。</p> <p>具体的な提案については、今後、取組を検討する際の参考とさせていただきます。</p>

◇基本目標6 活力とにぎわいのあるまちづくり

	意見概要	町の考え方
1	<p>○産業創造館について</p> <p>駅前再開発または旧小学校跡地に「産業創造館」を開設し、企業家や研究者・サテライトオフィス等として開放する中から、新たな産業が生まれうるシステムを創る。</p>	<p>王寺町では、平成 29 年にリーベル王寺東館 4 階に女性活躍支援センターを整備し、子育て世代の母親がテレワークを活用して、子育てしながら柔軟な働き方ができる環境づくりを行っている。</p> <p>また、令和 4 年にリーベル王寺西館 1 階に誘致した民間テレワーク施設「o-terrace」と連携し、デジタル人材の育成に加え、フォローアップとしてハローワーク、商工会、金融機関等と連携したビジネスマッチングなどを展開していくこととしている。</p> <p>具体的な提案については、今後、取組を検討する際の参考とさせていただく。</p>

以上